

グループワークで学ぶ自校の歴史 ー『香川大学検定』を例にー

■講師

山本 珠美（香川大学 地域連携・生涯学習センター 准教授）

平成6年3月東京大学教養学部教養学科（科学史及び科学哲学分科）卒、平成11年3月同大学院教育学研究科博士課程（生涯教育計画）満期退学。平成16年4月、香川大学生涯学習教育研究センター（現地域連携・生涯学習センター）着任。平成20年度より、本学葛城准教授・学生と一緒に『香川大学検定』を作ると同時に、同冊子を用いて全学共通教育科目の中で自校教育を行っている。

■プログラム概要

前半では、担当講師が香川大学の全学共通教育科目「主題A 人生とキャリア」の中で実施している、グループワーク形式の自校教育の取組を紹介し、後半では、各自で自校教育のプログラム概要を考える演習を行います。

担当講師は、以前、クイズ形式（88問、のち108問）で香川大学について学ぶ冊子『香川大学検定』を、学生と一緒に作成しました（2008～2011年度）。『香川大学五十年史』等の分厚い正史は新生にとってはハードルが高く、手軽にかつ楽しく、自分が入学した大学がどのような大学であるか、知ってもらいたかったためです。この『香川大学検定』を用いて、グループワーク形式（おおむねグループ6人）で香川大学の歴史を学ぶ授業を行っています。その手法について、学生が準備した「フリップボード」の実物などもご覧頂きながら、ご紹介いたします。

後半では、各自の大学に既にある資源を使いつつ、講義形式ではなくグループワーク形式で自校教育を行う手法を、検討することにします。

■準備物や事前課題

勤務大学の沿革がわかるものが手元にあると望ましい。

■主な受講対象

自校教育に関心のある教職員。

■本プログラムの到達目標

グループワーク形式で行う自校教育のプログラム概要を作ることができる。

■日時・場所

日時：平成30年8月29日（水）10：00～12：00

場所：香川大学幸町北キャンパス